

今、日本の平和を考えようシリーズ②

積極的平和主義の行き着く先は戦争への道だ！

<積極的平和主義って何ですか>

平和学において、「積極的平和」は元来は単なる国家間の戦争や地域紛争がない状態に加え、社会における貧困や差別などがなく、社会が安定している状態を指している。

「積極的平和主義」はそうした積極的平和を志向する主義を指している。

では、安倍首相が言っている「積極的平和主義」は何処から出てきたのでしょうか？



日本国において、第二次世界大戦後初めてとなる国家戦略が国家安全保障戦略として2013年12月17日に国家安全保障会議及び内閣の閣議で決定された。この戦略は日本国における国家安全保障に関する外交政策・防衛政策の基本方針である。「積極的平和主義」はこの戦略において明示された基本理念である。

さらに国家安全保障戦略においては、「積極的平和主義」の語は、「国際協調主義に基づく積極的平和主義」の形で用いられており、国際協調を基礎に置くことが前提条件となっています。「積極的平和主義」という言葉は、何かしら平和を求めるような感じがしますが騙されてはダメです。

安倍首相は、積極的平和主義の実現のためには、集団的自衛権と集団的安全保障に関する憲法解釈の変更が必要とまで言っています。今の国会の会期を延長してこれらを実現するために安全保障法制の整備に向けて躍起になっています。最後の狙いは憲法第9条改悪に他なりません。

「過去に目をつむるものは現代にも盲になる」

(ワイゼッカー・ドイツ元大統領)